

Kobe-Seattle Sister City Association

KSSCA

神戸ーシアトル姉妹都市協会

The NEWS Letter vol. 1

2005年2月

~~~~~ contents ~~~~~

- ・「神戸ーシアトル姉妹都市協会」設立のお知らせ
- ・シアトル市危機管理担当官が震災10周年のつどいに参加
- ・Taste Washington! (ワシントンワインを味わおう!)
- ・シアトル敬老ナーシングホームとの交流を推進
- ・シアトルの Lawton Elementary School との異文化交流を推進



Kobe Waterfront

## 「神戸ーシアトル姉妹都市協会」設立のお知らせ

### ご 挨拶

神戸市とアメリカ合衆国ワシントン州シアトル市との間に、1957年10月 姉妹都市提携が成立いたしました。2007年には、姉妹都市提携50周年を迎えます。

これまで姉妹都市提携を基盤として、教育・文化・芸術あるいは産業、経済面等多方面にわたる交流が続けられております。一層有意義な姉妹都市関係を築きあげていくため、より多くの市民の積極的な参加を求め、市民の手による「神戸・シアトル姉妹都市協会」をこのたび設立しました。

人と人との出会いを大切に、草の根レベルの幅広い交流をより広めていくことを目的として、時代の流れを考えながら、両市間の交流の架け橋となれるよう努めていきたいと思っております。

このたびの設立にあたりまして、多数の方々の温かいご支援、ご協力を頂きましたことを感謝いたしますとともに、今後ともよろしく願いいたします。



代表 八木 絵里

## シアトル市危機管理担当官が震災 10 周年のつどいに参加

2005 年 1 月 18 日（火）～22 日（土）にポートアイランドで行われた国連防災世界会議に出席のため、来神していたシアトル市役所危機管理担当官の Erika Lund（エリカ・ランド）さんと Ines Pearce（イネス・ピアース）さんが、震災 10 周年となる今年の 1 月 17 日（月）、神戸市中央区の東遊園地（神戸市役所南側）で早朝から行われた「阪神淡路大震災 1. 17 のつどい」に参加されました。参加は公式なスケジュールとして予定されたものではありませんでしたが、当協会スタッフがサポートして案内し、貴重な体験をしていただきました。また、現場では新聞社の取材も受け、全国的にも関心が高いことを実感された様子でした。

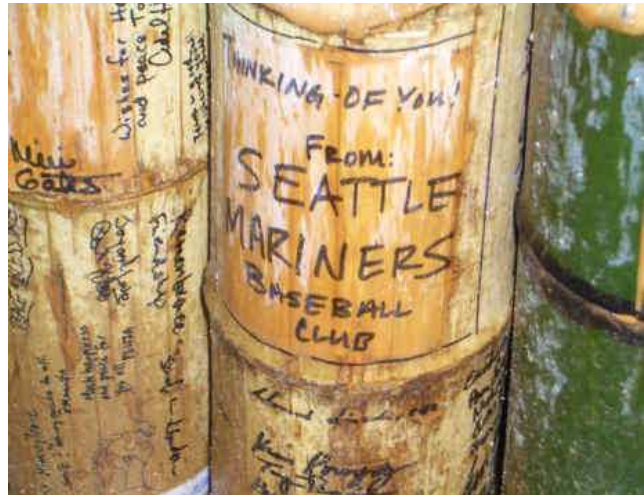


（熱心に説明を聞く Erika さんと Ines さん）



シアトルでは毎年 1 月 17 日に、神戸から分灯された「希望の灯り」を囲み、震災の犠牲者を追悼するつどいが行われています。震災 10 周年を迎える今年は、互いの追悼式で使われる竹筒が交換されることになり、シアトルからは、シアトル市長や大リーグのシアトル・マリナーズの選手が寄せ書きした竹筒など 16 本が 1 月初めに神戸に到着しました。

震災 10 周年となる 17 日は未明からあいにくの雨でしたが、午前 5 時から参加した Erika さんと Ines さんは、東遊園地のグラウンドに「1. 17」の文字に並べられた約 6,500 本の竹灯籠の中から、シアトルの竹筒 16 本を見つけ、震災犠牲者への追悼の気持ちをこめて 1 本ずつロウソクに点灯しました。



(シアトル・マリナーズから送られた竹筒)

2人は、震災発生時刻の午前5時46分には他の参加者と共に黙祷を行い、その後「慰霊と復興のモニュメント」の前で行われた「追悼のつどい」では、亡くなったご家族への思いを語られるご遺族の言葉に深くうなずきながら聞き入っておられました。

## Taste Washington! (ワシントンワインを味わおう!)

皆さんは「ワシントンワイン」をご存じですか？ アメリカのワインといえば「カリフォルニアワイン」を思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか？

当協会の法人会員であるオルカ・インターナショナル(株)など、ワシントンワイン輸入販売会社が加盟するワシントンワイン協会では、毎年3月を“ワシントンワイン月間”と位置づけ、豊かで芳醇な味わいとフレッシュな香りとのバランスで、今世界で高く評価されているワシントンワインを全国のレストランでグラス1杯から楽しんでいただけるキャンペーン「Taste Washington」を展開しています。



神戸では、3月1日(火)～4月24日(日)の約2ヶ月間、「ワシントンワインと神戸の食のマリアージュ」と題して、高品質のワシントンワインが味わえる「ワシントンワインフェア」が新神戸オリエンタルホテルで開催されます。さらに3月22日(火)には、ワシントンの最優秀ワインメーカーを招き、選りすぐりのワシントンワインとそれに合わせたスペシャルディナーが楽しめる「ワシントンワインメーカーズディナー」も予定されています。ぜひこの機会にワシントンワインを味わってみてはいかがでしょうか？(問合せ先：新神戸オリエンタルホテル スカイラウンジ エステレーラ 078-291-1123)

## シアトル敬老ナーシングホームとの交流を推進

「神戸ーシアトル姉妹都市協会」では、今後、シアトルの高齢者福祉施設にご協力をいただき、主に高齢者を対象とした交流プログラムを推進していきます。

既に、シアトル敬老ナーシングホームがこのプログラムにご賛同くださり、施設の紹介文を寄せてくださいましたのでご紹介します。

---

明治から大正にかけて、ひと稼ぎを目指して多くの日本人が米国へ渡って来ました。大半の人々は当初の予定通りに数年から十数年で帰国しましたが、日本から妻を迎え、シアトルとその近辺に根を下ろした人も少なくありません。その人々、多くの一世代が老年期に入ったのが 1970 年代です。

シアトルでは 1975 年、コミュニティ内でリーダーシップを発揮していた二人の二世が、自分たちの親の将来を案じて、日系のナーシングホームを作ることを提案しました。二世七名が発起人となり、一世のことを案ずるという意味で非営利団体「一世コンサーンズ（後に日系コンサーンズに改名）」を発足させ、目標 50 万ドルの募金活動を開始。翌年には既存の施設を買い取って 24 時間看護体制のナーシングホーム「シアトル敬老」（63 床）を発足させました。続いて 1987 年には現在の土地（1601E. Yesler Way）に 3 階建て 150 床の施設を新築して移転、今に至っています。発足から四半世紀が過ぎた今日では、一世というより日系二世の入居者と戦後移住者が多くなり、韓国・中国・ベトナム・フィリピンなど他のアジア・太平洋諸国の出身者も入居しています。

シアトル敬老の発足から聞もなく、在宅高齢者のためのデイケア「心（こころ）会」が、これも日系コンサーンズのもとに開始されました。その後、プログラムは、引退時期を迎えた二世の世代を主な対象とした文化教養講座「日系ホライズン」、高齢者と幼子の世代間交流を目指す保育園「Keiro Intergenerational Day Care, 通称 KID ケア」の設置へと広がりました。KID ケアは、シアトル敬老ナーシングホームの 1 階にあり、2、3 階に住むお年寄りとの交流プログラムが数多く実施されています。

ナーシングホームに入居するほどの必要性は認められないけれども、全くの一人暮らしは心もとない—そういう高齢者のための介護者付き住宅として、日系コンサーンズにより 1998 年完成したのが、50 室の「日系マナー」（700 6th Ave. S）です。2 階建てのこの建物は買い物にも便利なインターナショナル地区にあり、週 3 回の高齢者デイケア・心会も、現在はこの日系マナー内で運営されています。

これらプログラムは、多くのボランティアに支えられているのが特徴です。退職後の日系二世・三世・教育の一環として必要とされるボランティア活動の場を敬老に求める日系高校生・大学生のほか・日本からの駐在員家族や留学生もまたボランティアとして参加し、各種プログラムをいっそう充実したものとしています。日系文化センターを持たないシアトルにあって、日系コンサーンズの各プログラムは、日本人と日系人が出会う場であり、日系ヤングが高齢者に出会う貴重な場をも提供しています。（楠瀬明子）

---

シアトル敬老ナーシングホームとの交流プログラムに関する情報については、今後随時ご紹介していきます。本交流プログラムについてのお問い合わせは、当協会までお気軽にどうぞ。

## シアトルの Lawton Elementary School との異文化交流を推進

「神戸ーシアトル姉妹都市協会」では、今後、神戸とシアトルの学校にご協力をいただき、異文化交流プログラムを推進していきます。

既に、シアトルの Lawton Elementary School がこのプログラムに賛同し、コメントを寄せてくださいました。また、Lawton Elementary School のボランティア・スタッフ、ベス・コール (Beth Kollé) さんからも協会設立にあたりコメントをいただきましたので、併せてご紹介します。

---

### Cross-Cultural Arts at Seattle Elementary School

Lawton Elementary School in Kobe's sister city, Seattle, Washington, has a long tradition of providing cross-cultural arts and music education to its students, ages 5 through 11. Cultural diversity in the classrooms has inspired this, as well as the many parent volunteers who offer many different skills.

Once a parent volunteer with two children at Lawton, and now a teacher, Suzanne Cameron has encouraged hundreds of Lawton students to express themselves through the arts. A skilled artist herself, Suzanne introduces even the youngest ones to pot-building with clay, mask-making with papier-maché, gouache painting in the style of Cezanne, and more. Each year in the fall, Suzanne gathers local ceramics artists in the parking lot at Lawton to show the children 'raku', a Japanese clay-firing technique using special glazes and high heat in an oxygen-poor environment. The kids are always amazed at the beautiful colors that result from a correctly fired raku pot.

Beth Kollé is another parent volunteer who has seen both her children go through Lawton School. She played piano for the Lawton Choir for years, and brought her guitar or harp into her children's classes to teach folk songs each week. Two teachers led the choir while Beth played accompaniment, and they all three worked hard to find an interesting variety of songs to teach the children. One year the kids sang Sakura, with the kids of Japanese ancestry standing in front and singing the first verse in Japanese, and then in English with the rest of the choir. There were quite a few tears in the audience!

Lawton School is headed by Principal Ed Noh, who has a wonderful way with the children. He is of Korean ancestry, but is interested in many different cultures. He has recently agreed to work in partnership with Kobe for future exchanges in the form of letters and art-work from the children of Lawton to their new friends at their sister school in Kobe.

*"As a parent volunteer for Lawton Elementary School in Seattle, Washington, I am very happy to know that that the school will be working with Kobe-Seattle Sister City Association. I hope we can cooperate to introduce Japanese culture to our children, and to send to the children in Kobe our greetings and information on our American culture. We send our wishes for good will to the children of Kobe and look forward to working together!"*

---- *Beth Kollé, parent volunteer, Lawton School, Seattle*

## Lawton Elementary School での異文化芸術教育の取り組みについて

5歳から11歳の子供たちが通う Lawton Elementary School では、長年、特に芸術及び音楽の面で、異文化教育を行ってきました。これには、様々な文化を持つ子供が集まっている学校であったこと、さらに様々な才能を持つ親たちがボランティア（ペアレント・ボランティア）として参加してくれたことが大きな背景としてあります。

かつて2人の子供をこの学校に通わせながら、自らペアレント・ボランティアとして活躍し、現在は教員となっているスザンヌ・キャメロンは、これまで何百人もの子供たちに芸術を通じて自らを表現することを教えてきました。優れたアーティストでもあるスザンヌは、5歳の子供たちにも、陶芸や張り子のお面作り、セザンヌのスタイルを用いたガッシュ画法などを紹介してきました。毎年秋には、学校の駐車場に地元の陶芸家を集め、日本の陶芸の焼成技法である「楽焼き」のデモンストレーションを子供たちに見せていますが、子供たちはいつも出来上がった陶器の鮮やかな色合いに目を丸くしています。

同じく2人の子供をこの学校に通わせ、自らもペアレント・ボランティアとして活躍しているベス・コールは、長年 Lawton 合唱団でピアノ伴奏をしたり、毎週、自分の子供のクラスでギターやハープを使ってフォークソングを教えていました。合唱団の指導は2名の教員があたり、この教員とベスの3人で、子供たちが楽しく学べるような曲探しに取り組んでいました。一度、日系人の子供たちと合唱団の子供たちが一緒に「さくら、さくら」を歌ったことがありました。1番の歌詞を日本語で、2番を英語で歌い、多くの観客が涙を流して聞いておられました。

エド・ノー校長は素晴らしい教育者です。韓国系アメリカ人であるノー校長は様々な文化に関心を持っています。ノー校長は協会の趣旨に賛同し、今後、神戸と協力しながら、ロートン小学校の子供たちから神戸の姉妹校の子供たちに手紙や芸術作品を送ることで、交流を深めていきたいと考えています。

「*Lawton Elementary School* のペアレント・ボランティアとして、学校が神戸ーシアトル姉妹都市協会と協力して、神戸の子供たちとの交流に取り組むと聞いてとても喜んでいました。アメリカの子供たちには日本の文化を紹介し、神戸の子供たちにはアメリカの文化を伝えていきたいと思っています。一緒に交流できるのを楽しみにしています！」

(ペアレント・ボランティア、ベス・コール)



kindergarten teacher, Carol Anderson with her class

---

Lawton Elementary School との異文化交流プログラムに関する情報については、今後随時ご紹介していきます。本交流プログラムについてのお問い合わせは、当協会までお気軽にどうぞ。

# 神戸ーシアトル姉妹都市協会

## Kobe-Seattle Sister City Association

(代表者) 八木 絵里  
(連絡先) 〒655-0007 神戸市垂水区多聞台 1 丁目 10-20-507  
Tel/Fax (078)785-8205

### 【活動内容】

当協会は草の根交流のサポート、推進を行うための団体として、以下のような活動を中心に行っていきます。

- ①会報誌の発行
- ②交流会の実施
  - ・姉妹都市協会会員やシアトルから来神している人を対象とした交流会やイベント等の開催
- ③国際交流事業の実施・サポート
  - ・神戸市の事業への協力や各種交流プログラムのサポート
  - ・シアトルー神戸姉妹都市協会（シアトル側協会）との連携・交流（姉妹都市提携50周年に向けた活動を予定）

※ この他にも今後様々な活動を行っていく予定です。

### 【年会費】

個人会員 3,000円/1口                      法人会員 20,000円/1口

当協会の活動は、設立主旨に賛同された会員の方々のご協力、ご支援により運営してまいります。

上記の他にも、当協会の活動内容にご賛同いただける方のご協力、ご支援をお願い申し上げます。

当協会会員にお申し込みいただける方は、以下の様式に必要事項を記入のうえ、事務局代表八木宛に Fax をお送りください。後日、会費の振込先をご連絡させていただきます。

住 所 \_\_\_\_\_  
氏 名 \_\_\_\_\_  
Tel/Fax \_\_\_\_\_  
E-Mail \_\_\_\_\_



(後 記)

シアトルとの縁は深い。

シアトルの友人が、阪神・淡路大震災の時に心配して被災した児童たちをシアトルに招待したいと申し出てくれた。まわりの協力もあり実現させることができた。そしてそのときのシアトルの子どもたちのホームステイ先には、1993年の神戸のアーバンリゾートフェアで私が受け入れたシアトルの児童のファミリーも協力してくれた。

そして、今回の設立にあたっては、10年前シアトルに行った被災児童たちが成長し、協力してくれている。遠く神戸を離れている人たちまでも、会に賛同し連絡をくれた。本当に心から嬉しく思う。

シアトル側でも、今回の設立に多くの人が協力し、時間を割いて動いてくれている。

国を越えて、人と人との出会いがあり、人と人とのつながりの大切さを感じる。神戸とシアトルの関係がこれからの時代に、多くの人の中かで深く広く、そして長く続いて欲しい。自分の子ども、そのまた子どもと・・・。

人の心が温かく豊かになる交流の場を、皆でつくりたいと思う。

これからの出会いを楽しみにしながら・・・。

(八木 絵里)



Seattle Waterfront

(神戸ーシアトル姉妹都市協会事務局)

代 表：八木 絵里  
神木 与治、牧田 映子